

院内活動

【2023 年度】

臨床研究部課題研究発表会

(2024 年 2 月 6～8 日、16:00～17:15、当院 第 2 会議室)

・宮田賢人(診療放射線科)

「高線量率密封小線源治療における patient specific QA 体系の確立」

【2022 年度】

特記すべき活動はありませんでした。

【2021 年度】

新型コロナウイルス対策関連業務により、特記すべき活動はありませんでした。

【2020 年度】

新型コロナウイルス対策関連業務により、特記すべき活動はありませんでした。

TQM 活動発表会も再延期となりました。

【2019 年度】

第 49 回 北海道放射線治療研究会

(2019 年 9 月 7 日 13:00～ 北海道がんセンター 4 階大講堂)

北海道放射線治療研究会は、北海道内の施設を会場として年 1 回開催される研究会で、放射線治療に携わる医師、診療放射線技師・医学物理士・看護師等が多数参加いたします。2019 年開催の第 49 回は新築移転となった北海道がんセンター管理棟の 4 階大講堂にて、2012 年以来の当院開催となりました。

西山放射線診療部長による施設代表挨拶に始まり、続いて池田副診療放射線技師長により当院新棟の施設が紹介されました。西山部長の座長による「集学的治療～放射線治療と新規薬剤療法について」というシンポジウムでは、大泉内科系診療部長と西川(昇)放射線治療科医師にご口演いただきました。

会に先だって、3 グループに分かれて放射線治療室の施設見学も企画され、当院のスタッフが機器の説明を担当いたしました。全道各地のご施設から多数のご参加をいただきました。

北海道がんセンターTQM 活動発表会

(2020 年 3 月 12 日 16:00～) ➡延期となりました

『描き方改革～放射線治療用皮膚マーキングの休日対策を考える』(チーム名:放射線治療部門)を発表しました。

【2018 年度】

新病院移設業務により、特記すべき活動はありませんでした。

【2017 年度】

北海道 がんと闘う医療フェスタ 2017

(2017 年 9 月 30 日 10:00～)

『病院見学ツアー(リニアック)』を担当いたしました。

(10 名前後の 4 グループ) 当院の第 2 リニアック室にて、リニアック装置の実機と放射線治療の実際の解説を鈴木技師が担当いたしました。リニアック装置の操作を矢ヶ部技師、進行を木村主任技師、質疑応答を西山放射線診療部長が担当いたしました。多くの方にご来場いただき、盛況の中終わることができました。



北海道がんセンターTQM 活動発表会

(2018 年 3 月 13 日 18:00～ 大講堂)

『ダブルブッキングヒーロー ～がんセン高校 X 線&リハ部』

(チーム名:コメディカル向上委員会)を発表しました。

➡優秀賞を受賞しました

放射線治療とリハビリが同日にある病棟患者について、実施時間が重複してしまう要因を検証したところ、リニアック側で患者のリハビリの有無(予約時間)を知りえないということ、リハビリが時間予約に対しリニアックは原則オンコールであることの 2 つが重要要因として挙げられました。正確な実施予定時間の入力やリハビリ患者リストの出力、時間に余裕を持って呼び出すことを周知徹底する改善策を講じた結

果、重複を約 4 分の1に減らすことができました。また、今回の活動を通じて、リハビリ・放射線治療に限らず他イベントの重複も意識して患者の呼び出しを行うようになりました。(鈴木技師)

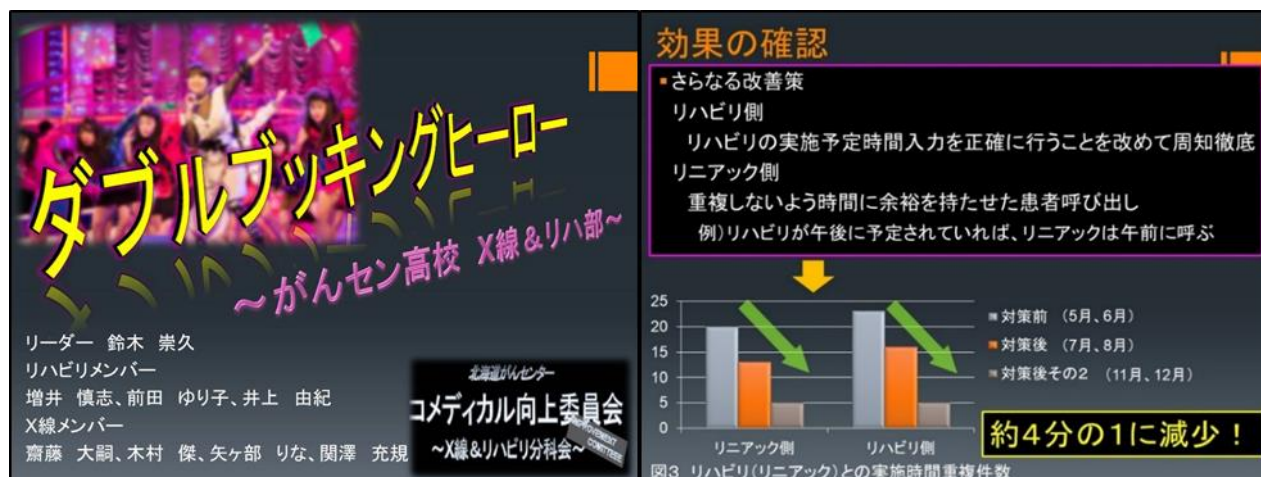


図3 リハビリ(リニアック)との実施時間重複件数